

2020年12月17日

## ベトナムの5G

ベトナムにおける移動通信の歴史は、第2世代移動通信システム(2G)は、1992年からと比較的早くから展開されたものの、第3世代移動通信システム(3G)および第4世代移動通信システム(4G)の導入は、他国よりも7～8年ほど遅れたと言われています。このような過去の教訓から、第5世代移動通信システム(5G)の開発については早い段階から非常に積極的に取り組んでいます。

現在、ベトナムの地上モバイル加入者の95%以上の市場シェアをベッテル(Viettel)、ビナフォン(Vinaphone)、モビフォン(Mobifone)の大手3社携帯電話会社が占めています。この3社は5Gの開発競争を繰り広げていて、3社とも既に一部地域で5Gの商用サービスを展開しています。

### ① ベッテル



当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社 (CAM) が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

ベトナム通信 ～当社グループ現地スタッフによる最新情報～

② モビフォン

情報通信省から5Gサービスの試験展開について認可を取得



2020年12月中にホーチミン市1区で商業ベースでのサービスを開始する計画

2019年4月

2020年3月10日

2020年12月

ハノイ市、ハイフォン市、ダナン市、ホーチミン市の4都市で5Gサービスの試験運用を完了

③ ビナフォン



2019年7月

5Gサービスの試験的な展開について認可を取得

2020年4月

ホーチミン市とハノイで5Gサービスのテストに成功

2020年11月27日

ハノイ市、ホーチミン市で5G商用サービスを開始



当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

ベトナム通信 ～当社グループ現地スタッフによる最新情報～

2021 年に、ベトナムでは 5G の大規模な商品化が計画されています。「超高速化」、「超多数同時接続」、「超低遅延」といった特徴を備えた 5G は、働き方改革やリモート学習に対応するだけでなく、ベトナムにおけるデジタル変革の促進および IoT 機器の展開にも寄与することが期待されています。

<http://www.capital-am.co.jp>

以上



当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。